

日本共産党

福山市議会だより
みよし剛史・塩沢みつえの
議会質問をお知らせします。

2026年夏号
議会報告

高すぎる！もう限界！ 国保値下げ要望署名

市は、今年度の国保の年間保険税額を一人当たり2,557円引き上げる改定を提案しました。



高すぎる国保に市民から悲鳴の声が上がり、6月議会に国保の値下げを求める署名が提出され、市議団が紹介議員となりました。

値上げは隠れ増税。 それでも議会は 値上げ賛成、値下げ反対

値上げは国が子育て施策の財源を医療保険で徴収する仕組みを導入したため、事実上の増税です。医療保険を壊しかねないもので、市議団は値上げに反対し、値下げ要望に応えるよう訴えましたが、他の全議員は値上げに賛成、値下げ要望に反対しました。



みよし剛史

みよし剛史

TEL 090-1182-3973

FAX 084-994-5014

mail miyoshi@f-jcp.com



塩沢みつえ

塩沢みつえ

TEL 090-5701-4521

FAX 084-960-3567

mail shiozawa@f-jcp.com

物価高・ナフサ不足

暮らしと営業 影響は深刻...

福山市は「ものづくりのまち」であり、石油製品を扱う産業が集まっているため、物価高や原材料不足が死活問題となつていきます。福山市議団は、市に対して「中東情勢による影響から暮らしと営業を守るための緊急対策を求める要望」を提出しました。

また、福山民主商工会は市議会へ「ホルムズ海峡封鎖等の影響による中小業者の緊急事態の打開を求める請願」を提出し、6月定例会で審議されました。要望項目は苦境に立たされている中小業者へ市独自に支援を行うことです。

しかし、審議された文教経済委員会、本会議いずれも賛成したのは共産党のみで、その他の全会派・全議員は中小業者の切実な声に背を向け、「不採択」の判断を下しました。

議会は請願「不採択」
賛成は共産党のみ



市議団が緊急要望書を提出
中小業者支援の請願も紹介議員に

「ものづくり」の危機
商売の灯を絶やすな

要望は、減収した事業者への固定費や人件費への直接支援と資金繰り支援、福祉・医療施設への支援、市税や国保税の猶予・減免など、市民生活を守る施策です。

市商工会議所の調査では9割の事業者に影響が出ており、「仕事はあるのに材料がない」状況で、市議団は、地域産業振興の責務を負う市が緊急支援を行う必要性を訴え、市議会に要望に応じるよう求めました。

水道料金18%上げも 共産党以外は容認...

物価高でも暮らしの負担増を次々と決定

来年1月分からの約18%の水道料金値上げ改定にも反対したのは共産党のみでした。医療保険や水道料金など、暮らしに直結する負担増を認めることは、市民の悲鳴に背を向ける姿勢そのものです。

本議会での討論・表決結果

議案	会派	水曜会	公明党	誠友会	市民連合	新政クラブ	福山維新の会	無所属	日本共産党
国民健康保険税の値下げを求める要望		×	×	×	×	×	×	×	○
ホルムズ海峡封鎖等の影響による中小業者の緊急事態の打開を求める要望		×	×	×	×	×	×	×	○
福山市国民健康保険条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	×
福山市水道給水条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	×

福山道路・神辺水呑線が事業化

まちを壊す大型物流道路

国交省は福山道路の未事業化区間13・2kmの着手を決め、新規事業を審議する第3者委員会は「妥当」との結論を下し、福山道路の事業化が決定しました。

また、広島県も福山道路に接続する神辺水呑線の事業化を決めました。

市長は議会冒頭、議会・経済界と一体で国に訴え、事業化決定は「地元の熱意のたまもの」と述べました。

しかし、福山道路は住宅密集地を貫くため、非常に多くの建物が立ち退き対象となり、地域住民との合意形成は図られていません。

小中学校を再編・高校も統廃合
地域に根差した教育を守れ

市教委は、新たな学校再編を進める基本方針案についてパブリックコメントの募集を実施し、市民から寄せられた意見は189件で異例の多さでした。

しかし、方針に反映させた意見はわずか2件で、ほぼ修正無く決定しました。

豊かな教育失いかねない

県教委も高校統廃合計画を決め、市内では小規模校、定時制、通信制の高校を1校に集約する計画です。

いずれの学校再編も少子化を理由にしていますが、地域から学校が失われれば若い世代は住みにくくなり、地域に根ざした教育が失われかねません。

地域とともに豊かな教育を守る方針こそ必要です。

新規事業化の概要

○ 福山道路(笠岡西～長和)
延長：13.2km
事業費：約3,030億円
→2026年度(令和8年度)

新規事業化

○ 神辺水呑線
延長：約2km
事業費：約260億円
→2026年度(令和8年度)

新規事業化



(市長記者会見資料より抜粋)

非常に低い費用対効果

福山道路の新規事業化を決めた審議会の資料では、総事業費3030億円に対する効果は、わずか10%しか見込まれておらず、コストや工期がわずかに増加しただけで、得られる効果より費用の方が上回ります。

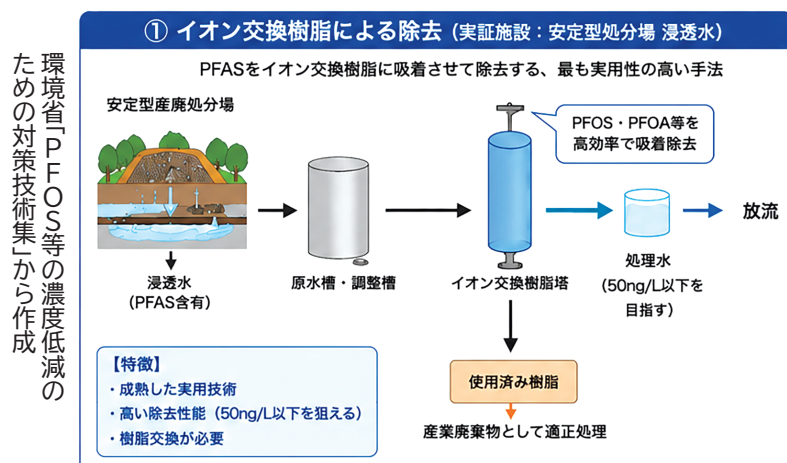
人口減少も進む中、住民に立ち退きを強いてまで大型道路が必要か、今後も問われなければなりません。

学校名	現在(令和7年度)		再編後(松永高等学校)	
	課程・学科	入学者	課程・学科	入学定員
松永高等学校	全日制 総合学科	103人	全日制 総合学科	160人
	定時制 普通科(1学級)	5人	定時制 総合学科 通信制 総合学科	80人 300人
沼南高等学校	全日制 家政科 園芸デザイン科	各28人	松永高等学校へ統合	
福山誠之館高等学校(定)	定時制 普通科(1学級)	8人		
福山葦陽高等学校(定)	定時制 普通科(1学級)	21人		
東高等学校	通信制 普通科	159人		

令和14～15年度までに開校目標

問題発覚から一年
住民不安は晴れず

PFAS問題 原因の特定を！



高濃度の有機フッ素化合物(PFAS)が加茂川上流域で検出されて1年以上経過していますが、未だ原因が特定されていません。市民団体の調査で産廃処分場周辺の河川で高濃度のPFASが検出されていますが、市は「排出源特定のための調査は必要ない」という認識です。しかし、除去技術の確立が進んでおり、排出源が特定できれば除去できる可能性があります。住民不安を払拭するため、一刻も早い原因特定と手立てが必要です。

